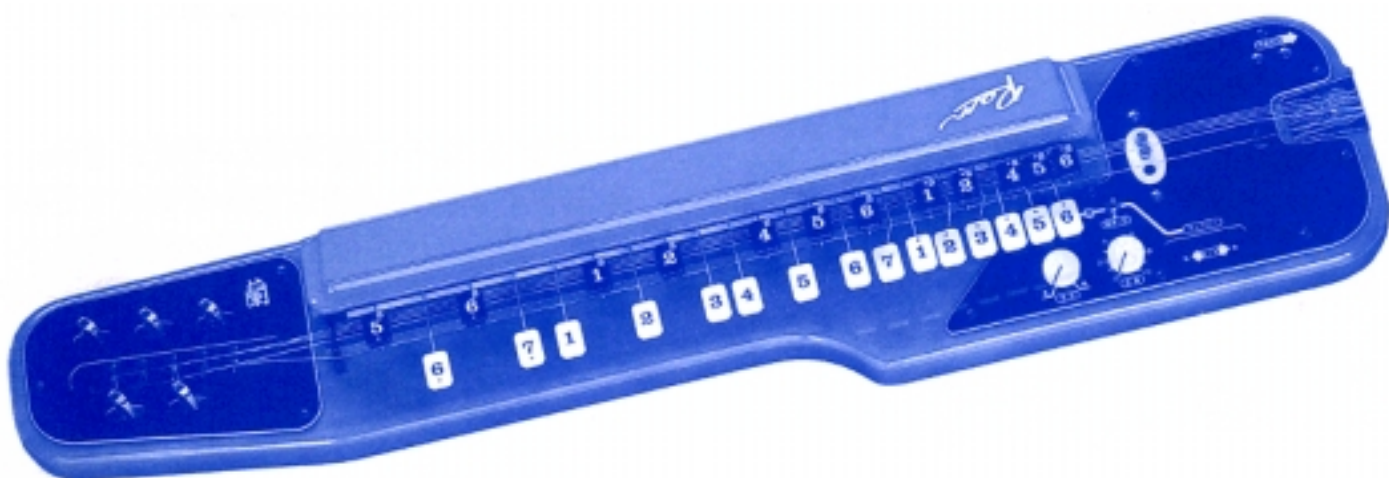


スズキ
電気

大正琴蘭

取扱説明書



この度はスズキ電気大正琴「蘭」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった取扱説明書は大切に保管してください。



<http://www.suzuki-music.co.jp/>

インターネットでスズキホームページをご覧ください。



使用上のご注意



湿気は大敵です

水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障や破損の原因になることがあります。



熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなるところでの使用・保管は避けてください。故障や破損の原因になることがあります。



ホコリっぽい場所は避けてください

ホコリの多いところでの使用・保管は避けてください。故障や破損の原因になることがあります。



絃で手を傷つけないように

調絃や張り替え・お手入れのとき、絃の先端で手や指などを傷つけないように気をつけてください。絃を張り替えた後は、絃の不要な部分を切りそえてください。



お手入れはやわらかい布で

お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。



衝撃を与えないでください

楽器をぶついたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。



不安定な場所に置かないでください

楽器を不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬけがをする恐れがあります。



調絃時は顔を遠ざけて

絃の張り替えや調絃の時は楽器に顔を近づけすぎないようにしてください。万一絃が切れますと、顔や目を傷つける恐れがあり危険です。



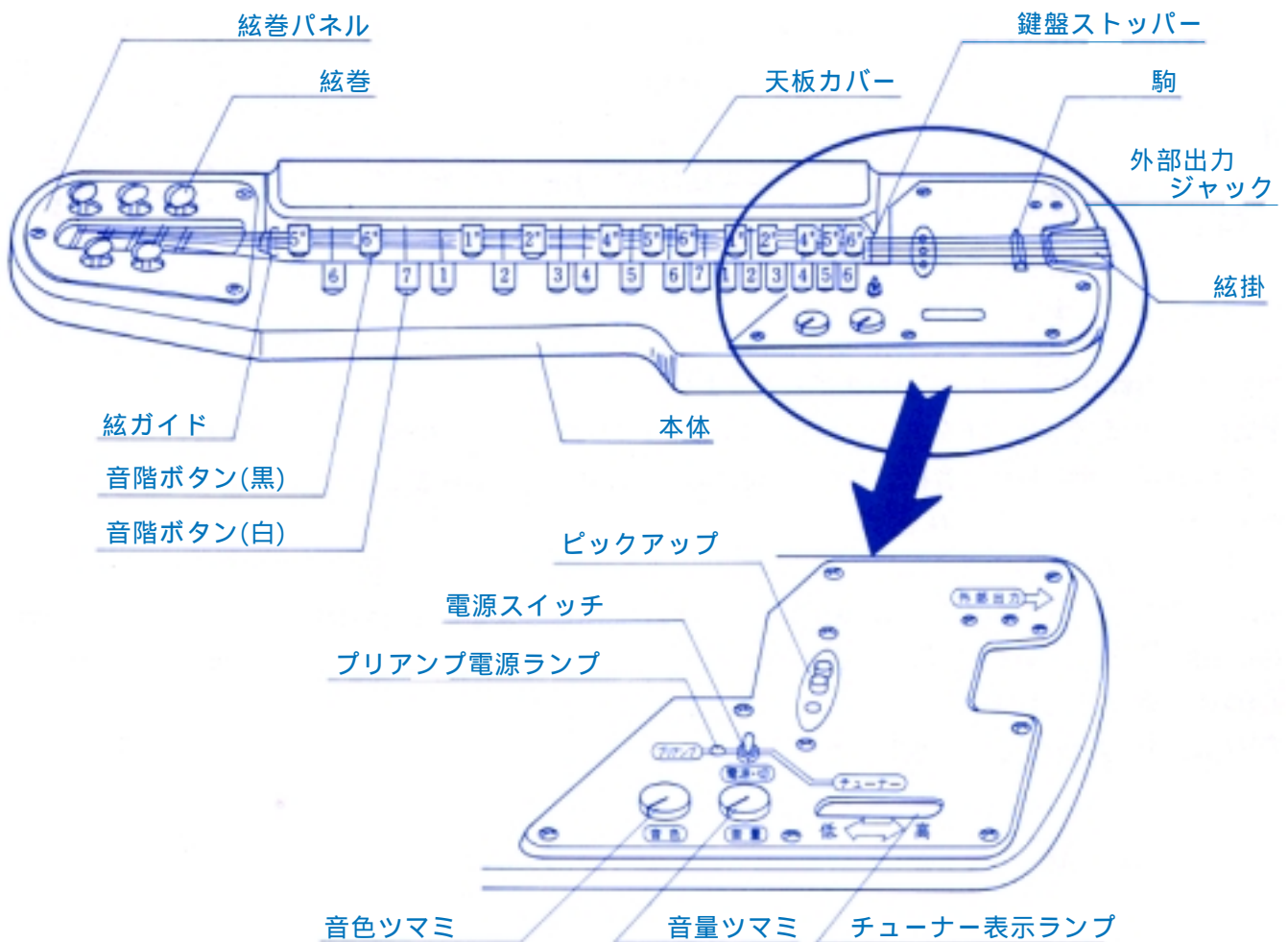
目次

特 長	2
各部の名称	2
調 絃	3
譜のよみ方	4
奏法と記号	5
弾き方と姿勢	6
音階ボタンと音域	6
アンプ接続と取扱い	7
電池交換	8
チューナーの調整	8
故障と思う前に(チェックシート)	9
仕 様	10

特 長

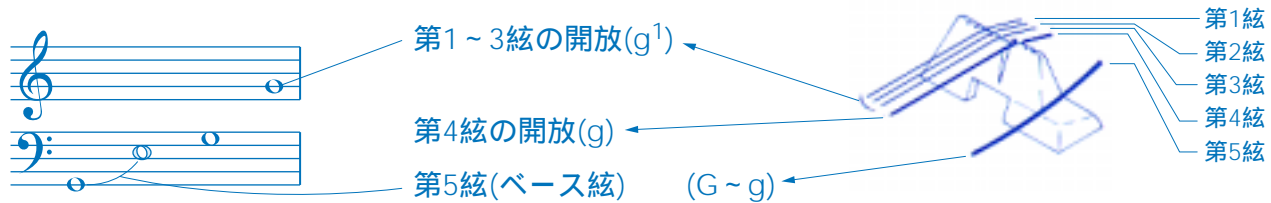
1. フレット線を使用しておりませんので、弦を均一に押さえる事ができ、すんだきれいな音が出ます。また、鍵盤レバーに細かな溝がついている為、弦を固定し正確な音程を得ることができます。
2. チューナーを内蔵し、電磁式ピックアップを使用していますので、弦の振動のみを直接マイクで拾います。ですから、他の楽器の影響を受けずに正確な調弦ができます。そのうえ、他の振動、鍵盤の雑音等がスピーカーから出ません。
3. 高度なテクニックに対応し、操作性や機能性を考えて角形キーを採用しました。また、指のすべりを考えて、文字をボタンに彫り込んで設計しました。
4. 大正琴”蘭”は、より多くの人に幅広く活用いただけたら、という願いから生まれた大正琴です。ひと味違ったデザインをお楽しみください。

各部の名称



電源スイッチは、使用しない時は必ず切っておいてください。(真中で切になります。)

調 絃



演奏の前に本体内蔵のチューナーで各絃の調絃をしましょう。

電気パネルの電源スイッチをチューナーにして下さい。(チューナーの表示ランプが点灯します。)

絃巻きは時計方向に回すと音程が上がり、反時計方向に回すと下がります。

右手でピックを持ち、第1絃を「ピン、ピン...」とはじき、チューナー表示ランプの点滅方向を表(6頁)によって確認し、調絃をして下さい。

第2絃・第3絃は で調絃された第1絃の音と同じに調絃します。この場合は、チューナーを使わず第1絃の音と比較しながら第2絃・3絃を合せます。第1・2・3絃が同一音になっているか確認して下さい。

第4絃は、第1・2・3絃より1オクターブ(8度)低く合合わせます。

第5絃は、第4絃と同じ音に調絃します。

<p>(イ)</p> <p>↓</p>	<p>絃を弾いてみて下さい。 全部のランプが点灯して静止してみえます。これは⑤ソの音よりだいぶ低い音の状態です。(準備の時絃を低く張ったため)</p>
<p>(ロ)</p> <p>↓ 早い流れ</p> <p>(低い)</p>	<p>弾きながら絃をゆっくり張っていくと全部のランプがチラチラと水にゆれている感じになります。さらにゆっくり絃を張っていくとランプがハッキリした感じで動いていように見えます。良く見ると光が右から左へ流れているように見えます。(この感じを良く覚えて下さい)この状態は、ソ音に近づいたしるしです。また光が右から左へ流れるのは⑤ソの音より低いしるしです。(この事も覚えておいて下さい)</p>
<p>(ハ)</p> <p>↓ 遅い流れ</p> <p>(少し低い)</p> <p>↓ 流れない</p> <p>((音が合った))</p>	<p>さらにゆっくり絃を張っていくとこの光の流れがゆっくりとなります。やがて4~5個のランプが静止した状態で点灯し、その他のランプもチカチカしますが流れた感じはありません。 この状態が⑤ソの音に合った時のしるしです。(調絃完了) 5本の絃をこのようにして1本ずつ合合わせます。</p>
<p>(ニ)</p> <p>↓</p> <p>(少し高い)</p> <p>↓ ↑</p> <p>(高い)</p>	<p>間違い無いか練習のためもう少し絃を張ってみましょう。 再び光が流れ始めます。方向が今度は左から右に流れています。これは「⑤ソの音より少し高すぎますよ」というしるしです。(この事も良く覚えて下さい) 光が左から右へ流れたら絃の張りをゆるめ(ハ)の状態にして合わせて下さい。</p>

お願い

絃は張っておくと、わずかに伸びて音程が低くなりがちです。

当社では調絃を完了済で出荷していますが、お買上時には音程を確認し、再調絃をして下さい。

第5絃の調絃は、演奏する曲目に合わせ調子を変えると効果のあがることがあります。ただし第4絃の音以上に音程を上げないで下さい。

絃は消耗品です。錆びたり、伸びきったり、切れかかっていると、音色が狂い音色・音量も悪くなります。その時は早めに取替えて下さい。

新しい絃で調絃いたしますと、最初調絃した絃の音程が絃の伸びにより下がりますので、第5絃までの調絃が終わりましたらもう一度第1絃の音程をチューナーで確認して下さい。

調絃が設定値より高くなりすぎて低くしたい場合は、絃巻を少しずつ反時計方向に回転しながら調絃するのではなく、絃巻きを半回転ほど戻してしまい、もう一度チューナーを見ながら再調絃して下さい。

そうしますと、絃の張りがゆるみにくくなります。

譜のよみ方

大正琴の楽譜は、音高（八調のド、レ、ミ）を数字で表しています。1（ド）2（レ）3（ミ）4（ファ）5（ソ）6（ラ）7（シ） $\dot{1}$ （ド）ですから、大正琴の音階ボタンの数字を譜に書いてあるとおりに押して、

絃をはじけば曲が弾けます。

音符（音の長さ）は1～7の数字1つを1拍とし、-、=、 $\bar{0}$ などの記号との組合せであらわします。

左図では1（ド）の音で記入してあります。

休符は0を1拍として、 $\bar{0}$ 、 $\bar{0}$ 、 $\bar{0}$ -、 $\bar{0}$ -などの記号であらわします。

拍数	音 符	大正琴の音符	休 符	大正琴の休符
四 拍	全音符	1 $\bar{0}$ $\bar{0}$ $\bar{0}$	全休符	$\bar{0}$ $\bar{0}$ $\bar{0}$ $\bar{0}$
二 拍	二分音符	1 $\bar{0}$	二分休符	0 0
一 拍	四分音符	1	四分休符	0
$\frac{1}{2}$ 拍	八分音符	$\underline{1}$	八分休符	$\underline{0}$
$\frac{1}{4}$ 拍	十六分音符	$\underline{\underline{1}}$	十六分休符	$\underline{\underline{0}}$
三 拍	付点二分音符	1 $\bar{0}$ $\bar{0}$	付点二分休符	0 0 0
一拍半	付点四分音符	1-	付点四分休符	0-
$\frac{3}{4}$ 拍	付点八分音符	$\underline{1}$ -	付点八分休符	$\underline{0}$ -

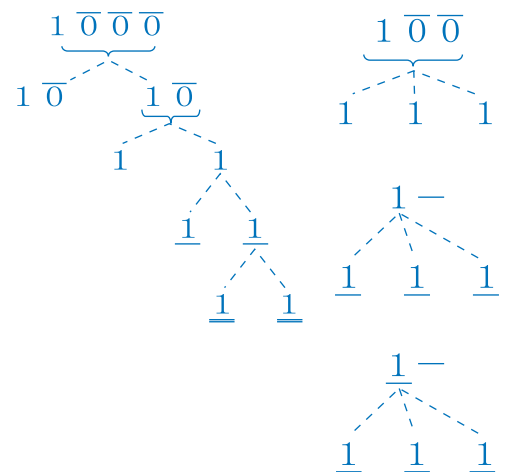
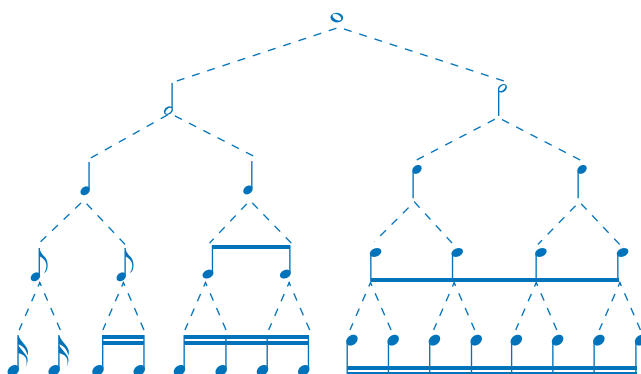
全 音 符

二 分 音 符

四 分 音 符

八 分 音 符

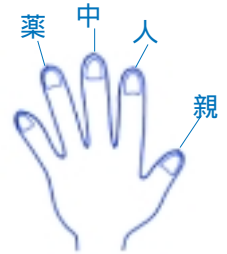
十 六 分 音 符



奏法と記号

左手指の使い方

大正琴の楽譜には、音階ボタンを押える指名を右図のように略して、表示してありますので、楽譜の通りに弾いてください。

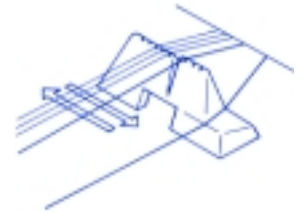


かえし弾き

弾き方は楽譜のとおり、左手指で音階ボタンを押します。これで出す音がきまります。つぎにピックで弦をはじいて音を出します。弦をはじく方向は図のように原則として手前から向う側です。

「かえし弾き」といい図のように向う側から手前に弾く方法もあります。

「かえし弾き」はVという記号で楽譜の数字の下に表示してあります。



(例1) ふるさと

$\frac{3}{4}$ 5 5 5 | 1 - 2 3 | 4 4 2 | 1 0 0 |

1の音で、2拍目、3拍目を「かえし弾き」を行います。

(例2)

$\frac{4}{4}$ 0 1 2# 5 4 2# 2 1 | 2 0 0 0 |

0 1と同じこと

2の音で2拍目に2回(2 2という音) 3拍目、4拍目に1回づつ「かえし弾き」をします。

その他の記号

だんだん強く

$\frac{4}{4}$ ||: 1 2 3 4 | 1 2 3 — 4 5 5 5 5 6 :||

拍子 1小節 1小節

反復記号
この場合||:まで
もどってくり返
し演奏する。

タイ(2の音を—の分だけのばす)

$\frac{4}{4}$ | 0 2# 2 2 5 5 5 1 | 5 0 1 2 2 2 1 |

1拍休み

0 1と同じ意味(1/2拍休んで、1の音で1/2拍弾く)

ベース弦のみを弾く記号

だんだん弱く

0 5 1 2 3 1 | 1 2 2 2 3 4 0

1拍休み

開放弦の音
(ボタンを押さえない)

かえし弾き

指は押さえるが弦をはじかない

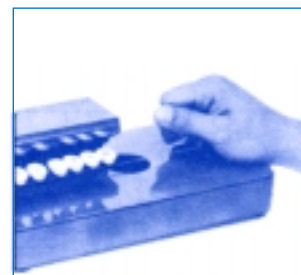
前の4の音をもう1拍分のばす

弾き方と姿勢



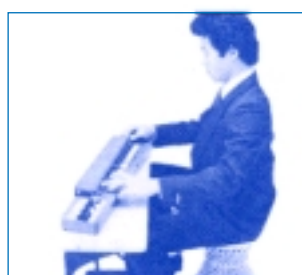
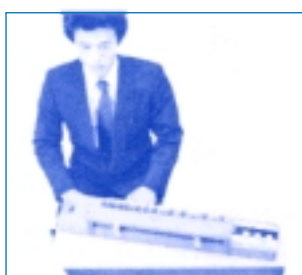
ピックの持ち方

右手人差指と中指の上に「ピック」をのせ親指をその上に軽くあてます。



手の位置

絃を弾くときの手の位置は、印の部分をかろく大正琴の右端手前にのせます。演奏は大正琴から手をはなしたり、浮かせないようにしてピックで絃をはじきます。



演奏の姿勢

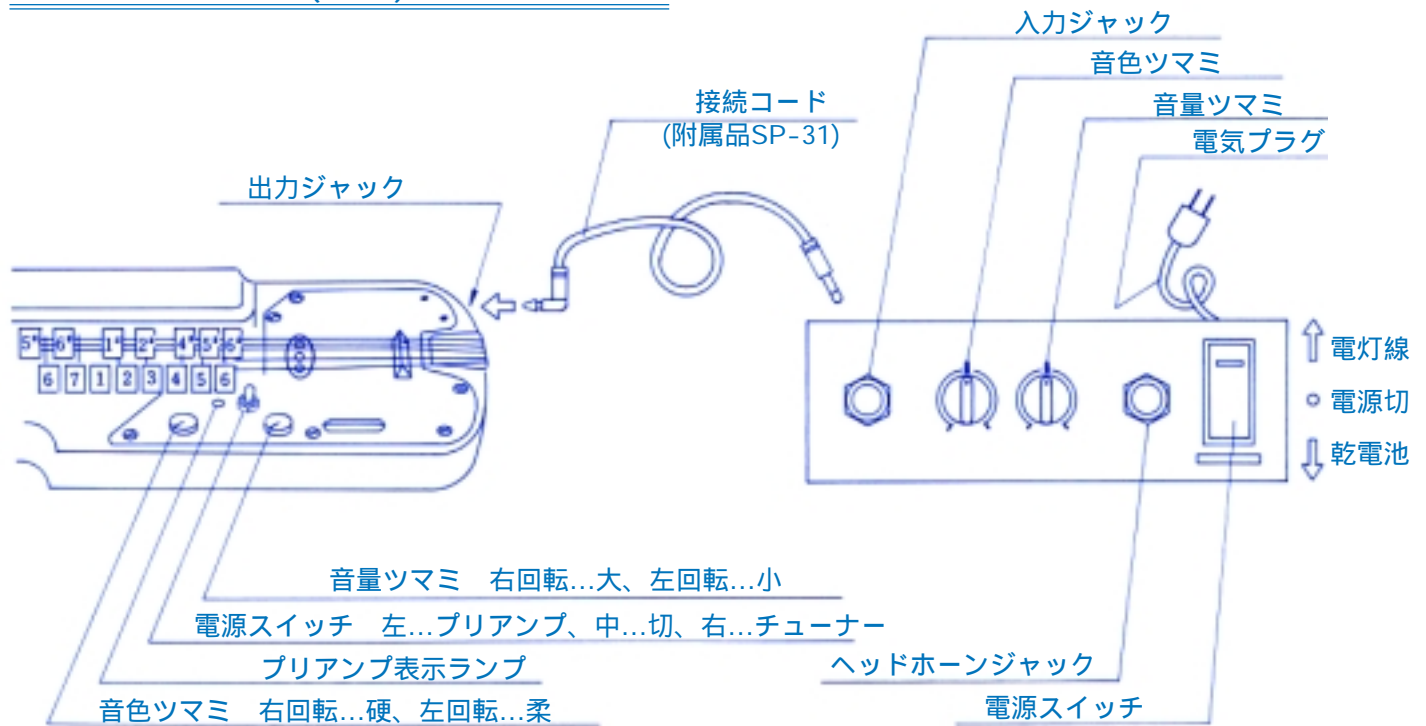
写真のように、右肩と大正琴の右端が揃うように置き、絃巻き側（大正琴の左端）を離し、左上がりの状態におきます。

音階ボタンと音域

(5 開放絃ボタンをおさえずそのまま弾いた音)

アンプへの接続と取扱い

大正琴専用アンプ(別売) SA-15の場合



操作の手順

大正琴の出力ジャック と使用するアンプの入力ジャック を大正琴附属の接続コード で接続して下さい。

アンプの電気プラグ を100Vコンセントに差し込んで下さい。(アンプを乾電池で使用する場合は必要ありません。)

大正琴の電源スイッチ をプリアンプ側に倒し、プリアンプ表示ランプ の点灯を確認して下さい。

大正琴の音量ツマミ を最大にし、試奏しながらアンプ側の音量ツマミ を音が歪ない程度まで回して音量を調整して下さい。(演奏中の音量調整は大正琴の音量ツマミを使用してください。)

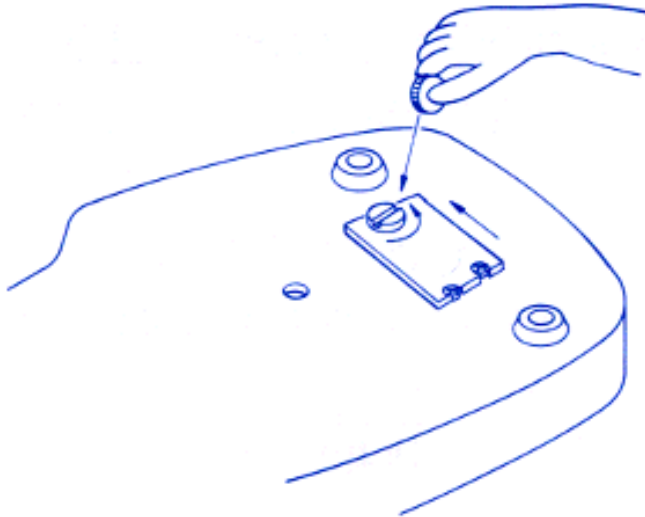
大正琴の音量ツマミ と、アンプの音色ツマミ は、曲目に合わせて音色を変えると効果的です。

注 意

1. アンプSA-13で乾電池を使用する場合、電池の寿命が近いと音が歪みます。新しい電池に交換して下さい。
2. アンプに入力ジャックが複数ある場合、入力(大)ジャックを使用して音が歪むときは入力(小)ジャックに入れかえて下さい。
3. 合奏をされる場合は、大正琴どうし、又は他の楽器との音量バランスに注意して下さい。
4. 大正琴「蘭」は電磁式ピックアップにて電氣的に音を拡大しています。使用する場所によっては、雑音が入ることがあります。(例えば蛍光灯のすぐ近くなど...) 大正琴の向き・場所を替えて雑音の入らない場所を選んで下さい。
5. アンプの電源プラグ の差込み方向により「ブーン」というハムが入ることがあります。電源プラグの差込み方向を逆にしてみてください。

電池交換

大正琴^ㄟ蘭^ㄟはプリアンプを内蔵して出力を増幅していますが、電池の寿命が近いと音量が小さくなり、プリアンプ表示ランプも消えてしまいます。又、チューナーの機能が低下してしまいます。下図のようにして、新しい電池 9V(S-006P) と交換して下さい。



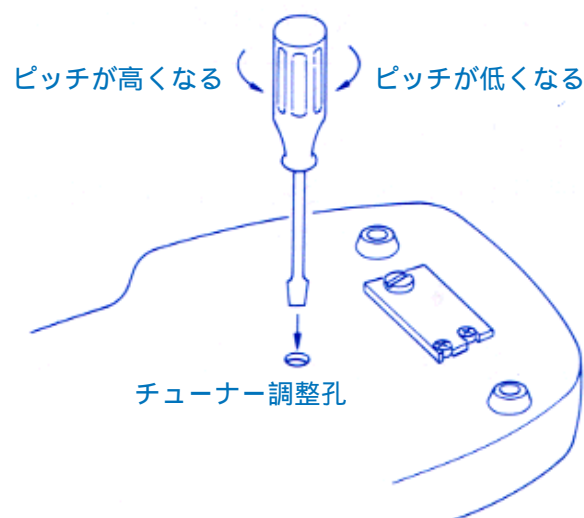
コインなどでボルトを外し、電池蓋をずらして電池を外してください。

チューナーの調整

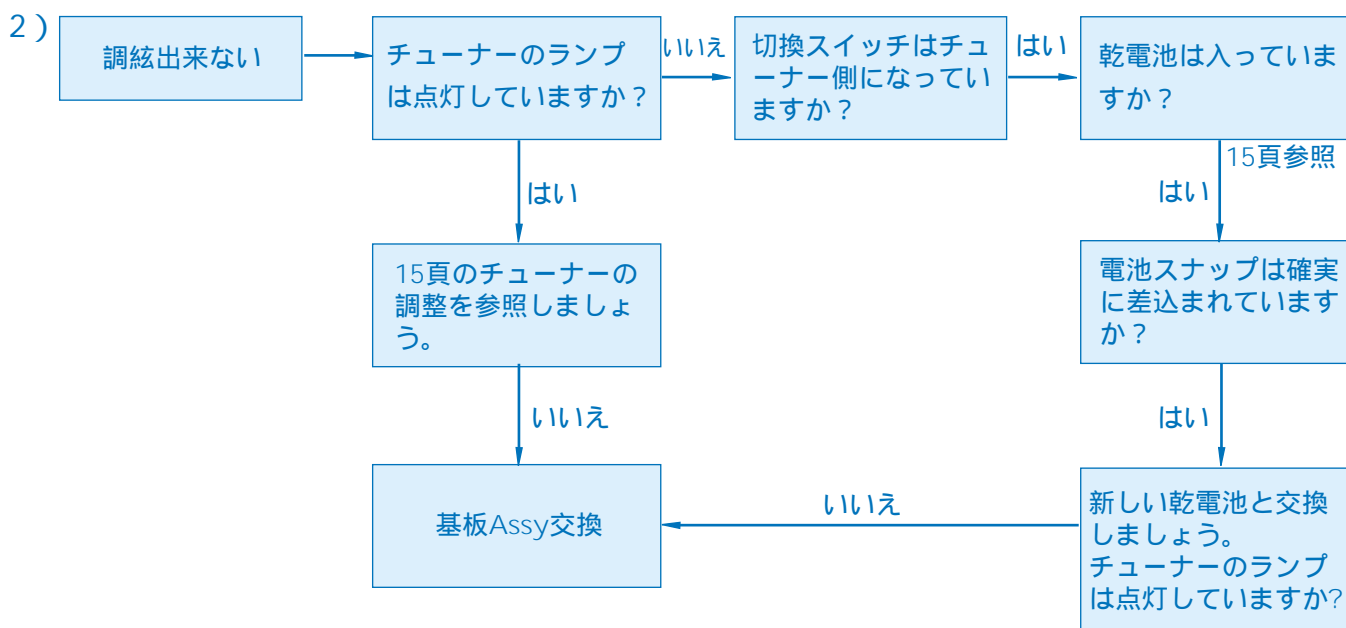
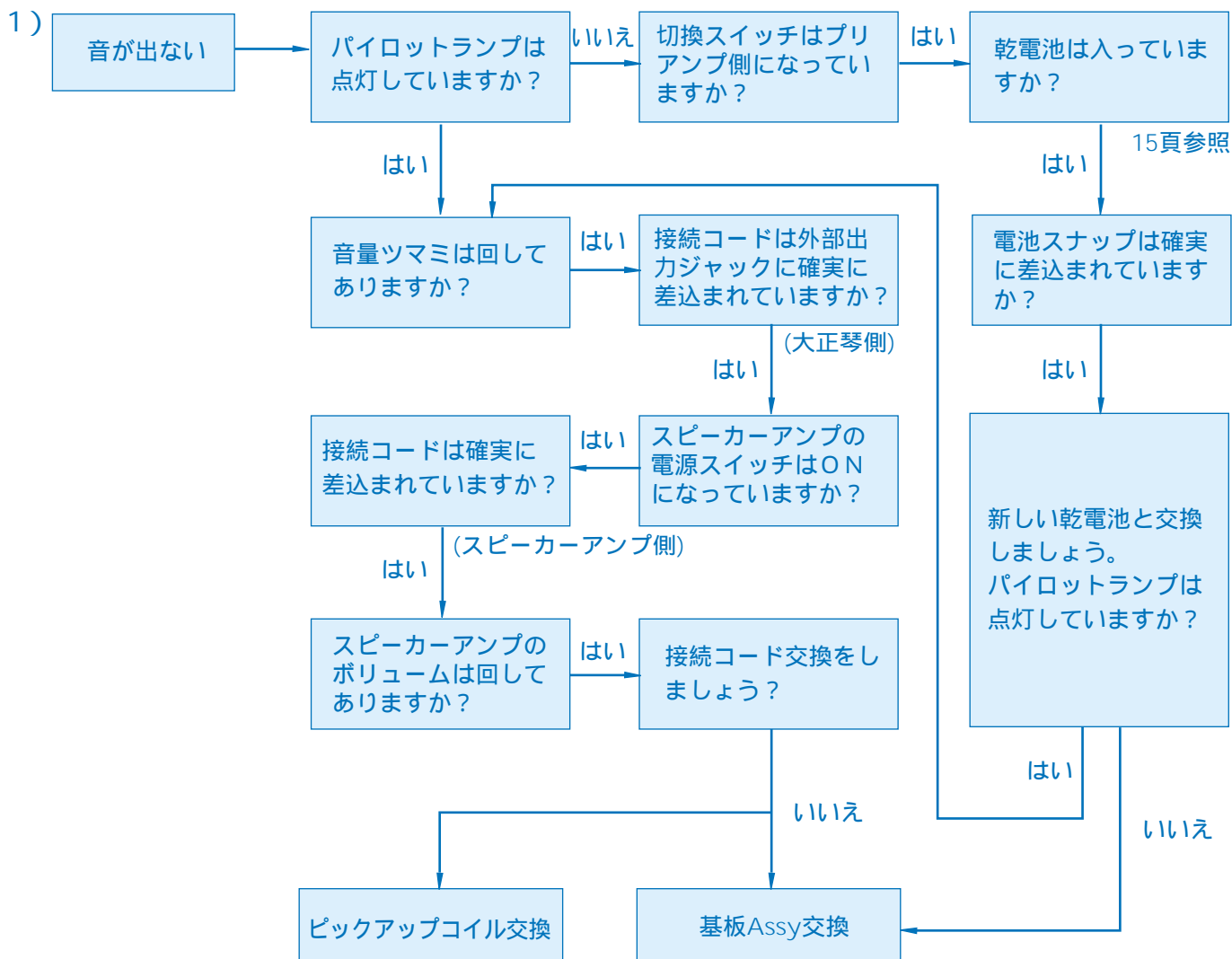
大正琴^ㄟ蘭^ㄟに内蔵してあるチューナーは、出荷時に正確にチューニングしてありますが、多少ピッチが変動することがあります。

その場合は、弦を正確な音程に調絃し、逆に絃振動を利用してチューナーを下図のように先端の細いドライバーで調整して下さい。

チューナー表示ランプが点灯して静止した状態が調整完了のしるしです。



故障と思う前に(チェックシート)



この他、故障・アフターサービスにつきまして不明な点は、取り扱い店または各営業所にお問い合わせください。

仕 様

音 域 / 5 ~ 6[#] 27鍵

絃 / 第1・2・3線(細線)

第4・5線(細巻線)

寸 法 / (長)750×(幅)160×(高)77

重 量 / 2.3kg

本 体 / ソリッドタイプ

鍵盤ボタンの形状 / 角型

塗装 / 高級ポリウレタン塗装

プリアンプ内蔵

チューナー内蔵

フレットレス (フレット線がありません)

附属品 / ピック・細線1・細巻線1・接続コード・

ケース・9V乾電池